

令和5年度 学校
自己評価報告書

令和6年1月

学校法人大志学園

専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ

学校の教育目標

本校は開学当初よりグローバル教育と日本伝統文化の継承と発信の共存を視野に入れて指導を行ってきました。そのため、日本をはじめ、世界各国から集まった学生と日本の伝統文化や技術を学ぶ学生が同じ学び舎で学び、お互いの個性を磨きあう環境があります。そして、課外活動として学内だけで留まらない外部とのコラボレーションや「身体・表現教育」を取り入れたアクティブラーニング授業を行うことで、勉学だけでなく実務と教育を共有し、国内外で活躍できる人材を育成することが出来ます。

本年度の教育目標

- ・外部イベント参加
- ・デザインコース新設
- ・卒業生との連携強化
- ・e-sports コース新設

実施体制

教職員全員に周知させ実施

各評価項目に対する評価

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや適切 1 不適切

(1)教育理念・目標

評価項目	評価(4~1)
・学校の理念・目標・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は定められているか	3
・学校の理念・目標・育成人材・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

①特記事項

令和6年1月 学校関係者評価を実施

(2)学校運営

評価項目	評価(4~1)
・学校の理念・目標・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・目的に沿った運営方針が策定されているか	4

・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、供与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動用に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(3)教育活動

評価項目	評価(4~1)
・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携・実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価は取り入れているか	2
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識。技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

①

特記事項

令和6年1月 学校関係者評価を実施

(4)学修成果

評価項目	評価(4~1)
・就職率の向上が図られているか	3
・就職ガイダンスを実施しているか	3
・卒業後の事も考慮した授業を行っているか	4

①今後の方策 就職率の向上を図るため面接練習やポートフォリオ制作の時間を設け、就職実績を上げる。

(5)学生支援

評価項目	評価(4~1)
・進路、就職に対する支援体制は整備されているか	3
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3

(6)教育環境

評価項目	評価(4~1)
・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学校内の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2
・防災に対する体制は整備されているか	4

①今後の方策 在校生面談を行い授業内容、設備、環境に関する要望をヒアリングして対応する

(7)学生の受け入れ募集

評価項目	評価(4~1)
・学生募集活動は適正に行われているか	3
・学生募集において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4

①特記事項 高等学校へ赴き実習体験やガイダンスを行っている

(8)財務

評価項目	評価(4~1)
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4
・予算・収支計画は有益かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備は出来ているか	4

(9)法令等の遵守

評価項目	評価(4~1)
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
※・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
※・自己評価結果を公開しているか	4

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	評価(4~1)
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学校のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）受託等を積極的に実施しているか	4
※・自己評価結果を公開しているか	4

①特記事項

令和5年4月～令和6年3月 高等学校へ赴き染色実習体験開催、継続中
令和5年10月 特別講座を開催、外部へ公開

(11)国際交流

評価項目	評価(4~1)
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っているか	4
・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等がとられているか	4
・留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
・学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	4

学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価を毎年定期的に行い授業内容へ反映させることとする。また日本伝統文化工芸の発展と繁栄を目的とし、その中から新しい文化を発信させることを常に目指し、学校教育と学生のモチベーションの向上を続ける努力を行っていき、より良い学校を創り上げる。